

図書館サポーターズだより 明日に吹く風

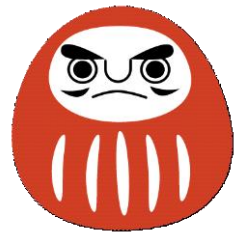
平成 27 年 2 月 19 日発行
第 64 号

アッという間にお正月が通り過ぎ、お餅を食べていたかと思ったら雪が降ったり路面凍結したり、本格的に“the 冬!!”といった感じの季節ですね。皆様着込んでいますか。マフラーに手袋、装備していますか。気合と防寒グッズで頑張っていきましょう～～(´o`),

＊図書館サポーター推薦図書＊

【夜は短し歩けよ乙女】著:森見登美彦 1F メインカウンター 913.6||Mo54

時は平成、所は京都。この作品の主人公は、黒髪の乙女に心奪われ、彼女と結ばれようと懸命かつ縦横無尽に京の都の大学構内を駆け回る(残念)男子大学生の「私」。特筆すべき点の無い、ごくごく普通で少しばかり阿呆な彼が、行く先々で出会う愉快奇天烈な人々に翻弄され時に励まされながら、乙女とお近づきになるべく努力を惜しまぬその姿のなんと愛おしいことよ!最後には彼のハッピーエンドを願わずにはいられなくなってしまふ、そんな魅力あふれる一冊です。ぜひ一度その手に取って頂きたいです。(H.M)



【魔法使いハウルと火の悪魔】ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 作 1F メインカウンター933.7||J72||1

皆さんが知っているジブリの中に「ハウルの動く城」があると思いますが、この本はその作品の原作です。ストーリー的には同じですが内容が違っている場面が多いため、もう一度楽しむことができます。

魔法が本当に存在する国インガリーで3人の姉妹の長女に生まれたソフィーが、ある日「荒地の魔女」に呪いをかけられ、90歳の老婆に変身させられます。家出をしたソフィーは空中の城に住む若い魔法使いハウルのもとに掃除婦として住み込みました。そこでは謎のかかしや犬人間も現れる。やがてハウルの意外な素顔を知ったソフィーは力を合わせて魔女と闘おうとするが……。

この本は、「ハウルの動く城①～③」まで出ています。一見、関係ない話だと思うかもしれませんが、最後まで読むと見えてくるものがあります。ジブリの作品とはまた一味違う作品です。(S.K)



【シーラという子】 トリイ・L・ヘイデン 作 1F メインカウンター936||H49

私は特別支援の講義を受けて、障害を持っている人も私たちと同じように生き、感じているということを知り、もっと知りたいと思い、この本を読むきっかけとなりました。

この作品はノンフィクションで著者のトリイ・L・ヘイデン氏が実際の経験をつづったものです。

この本に出てくるシーラという女の子は季節労働者用のキャンプに住み、傷害事件を起こし、著者の元に送られてきました。シーラは決してしゃべろうとせず、泣きもせず、何かやらせようとすると怒り狂い金切り声をあげて大暴れします。この子は「家庭内暴力」、「貧困」、「性的虐待」に蝕まれ、心身に深い傷を負っていました。堅く閉ざされた心を恐る恐る開き、一人の献身的な教師と深い信頼の絆で結ばれてゆく姿が描かれています。

この作品は22か国語に翻訳され世界中で大きな反響を呼んだ感動作品となりました。とても考えさせられる作品です。(S.K)



＊「明日に吹く風」は、しばらくお休みします。またの機会にお目にかかれればと思います。